

ライフジャーニー

こころとカラダをみらいにつむぎ、せかいをおもう

北海道大学は、2015年の北海道大学 COI 拠点時代より、妊娠、出産から、ひとの生命を中心に多くの企業、自治体、市民の方と研究開発、社会実装を行ってきています。

この回廊の展示は、こどもたちに、自分が“からだの中に入って、生命のすばらしさ、不思議さを体験してもらいたい”という想いから制作しました。本制作では、いままで見たことのない大画面、触れられそうな距離を実現しました。

映像では「まなび」を一緒につくってきていただいている NHK、

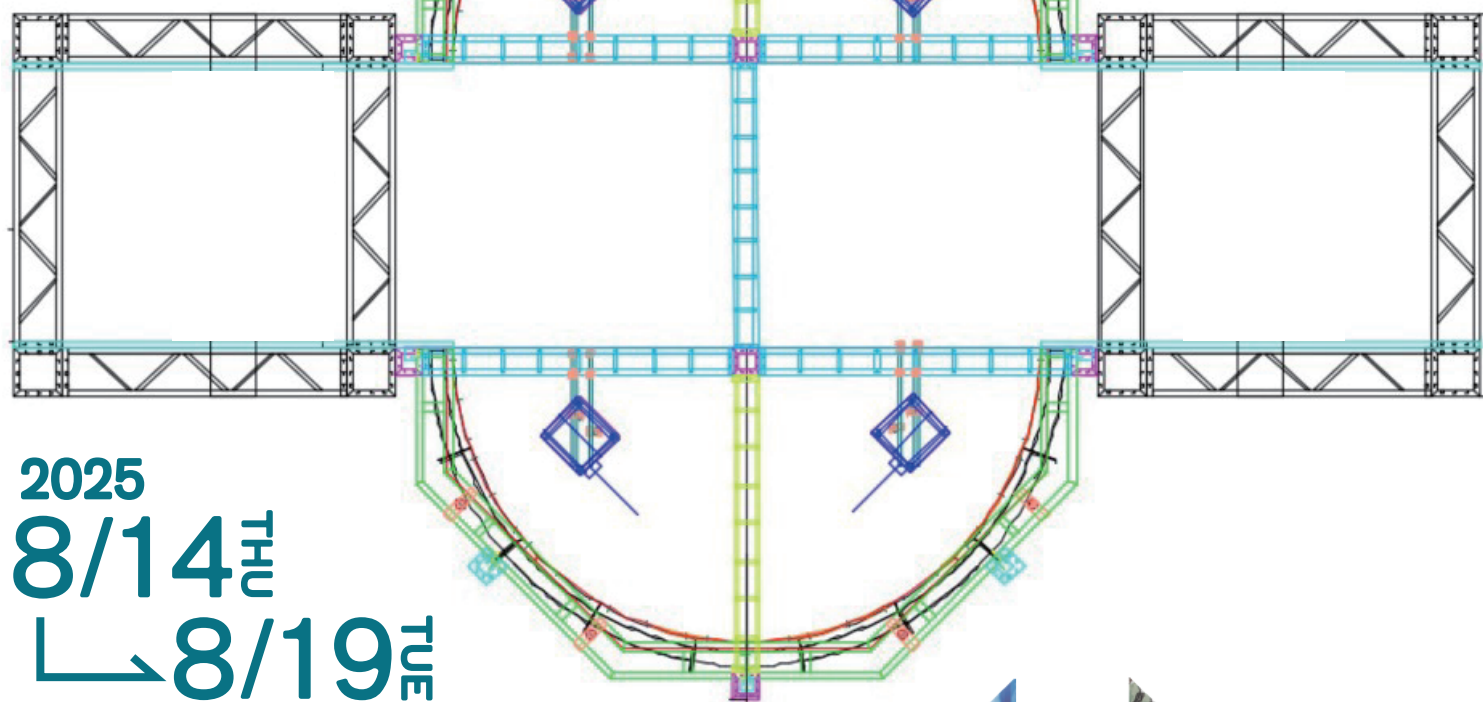
NHK エンタープライズ、ワンダービジョンテクノラボラトリーにご協力をいただいております。

大阪・関西万博「わたしとみらい、つながるサイエンス展」にてお待ちしております。

からだの中に入って、
生命のすばらしさ、
不思議さを体験してもらいたい。
そこから地球全体のいのちについて、
こころを広げてほしい。



こころとカラダの
ライフデザイン
COI&NEXT hokkaido univ.



2025
8/14 土
8/19 火

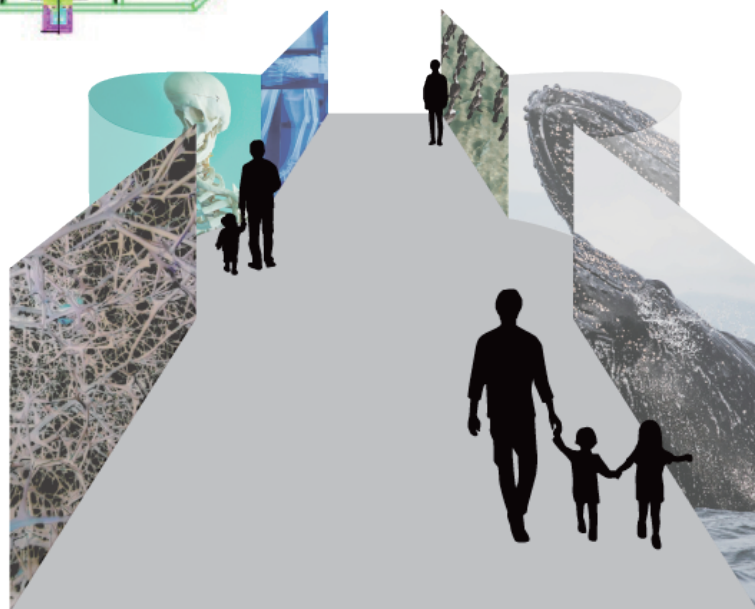
企画：北海道大学 COI-NEXT 「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」

制作：NHK エンタープライズ
NHK テクノロジーズ
映像リサーチ
WONDER VISION TECHNO
LABORATORY

NHK スペシャル
シリーズ人体

ダーウィンが来た！

ワイルドライフ



北海道大学 COI-NEXT 「こころとカラダの ライフデザイン共創拠点」

拠点の強み

研究テーマの健康ものさしの開発は、北海道大学 COI で構築した腸内環境研究が基礎となっています。腸のαディフェンシンはヒトの健康に関与し、健康ものさしとして重要です。この物質を計測できる設備と技術において、本拠点は世界に先行しています。母子健康調査をはじめとする調査研究データと健康データを紐づけたビッグデータのデータベースおよび解析基盤を構築しており、それらを発展させてライフデザインのデータベースと解析基盤を開発していきます。アンダーワンループの強力な連携体制をさらに拡大し、プロジェクトを推進します。

ビジョン

自分のこころとカラダを理解できるしくみをつくり、若者が、自分の選択肢を増やすことができ、他者（ひと）とともに、自分らしく幸せに生きる社会を実現します。自分らしく生き、望めば望んだ時に産み、安心して育てられるまち、人が育ち、途切れない学びがあるまち、住みたくなる、行ってみたくなるまちには、新しいひとの流れができます。誰もが活躍できる地域社会をめざし、少子化を克服していきます。

ビジョン実現のためのアプローチ

同世代の学生と一緒に歩む“若者コホート”をデジタル空間に構築し、若者のこころとカラダを繋げます。日本で初めての包括的なプレコンセプションケアを小児期から開始します。医療、学校、地域、企業が一体となった岩見沢モデルを構築し、他地域へと広げます（課題1：若者コホートによるこころとカラダのライフデザイン）。岩見沢市に、未来人材育成拠点（北海道大学サテライト）を新設し、地域フィールドを核とした新しい産学地域連携を進め、持続的な地域課題の解決、新しい地域産業創出をめざします（課題2：Inclusiveな地域・社会システム）。



代表機関

北海道大学

幹事機関

国立成育医療研究センター

株式会社日立製作所

北海道

プロジェクトリーダー

玉腰 暁子

北海道大学大学院医学研究院 教授

幹事自治体

岩見沢市

参画機関

北海道、公立学校法人札幌市立大学、国立大学法人北海道国立大学機構小樽商科大学、学校法人北里研究所、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所、国立大学法人政策研究大学院大学、国立大学法人北海道教育大学、学校法人埼玉医科大学、学校法人順天堂、学校法人大同学園、学校法人聖路加国際大学、株式会社セコマ、株式会社ツルハホールディングス、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター、住友生命保険相互会社、東日本電信電話株式会社、一般社団法人プラチナ構想ネットワーク、ミュージックセキュリティーズ株式会社、森永乳業株式会社、NPO 法人妊婦のくらし、SUNDRED 株式会社、札幌市、小樽市、株式会社資生堂、株式会社マクニカ、苫小牧市、株式会社TENGA、株式会社ラファール、フォーネスライフ株式会社